

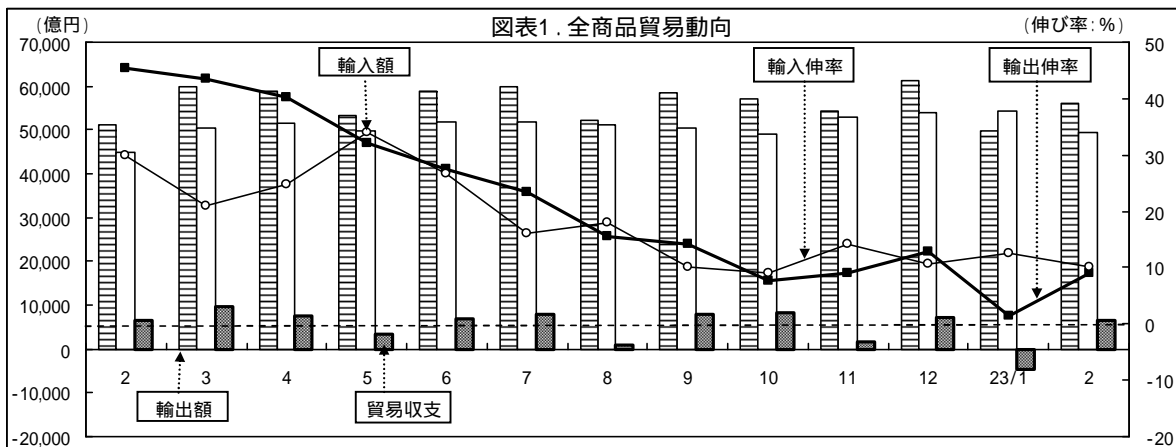
最近の機械貿易動向(2月)～機械輸出の伸び9.3%増に回復するも一桁台～

2011.4.21.運営委員会

平成23年2月の機械輸出額は、3兆6,482億円、対前年同月比9.3%増と前月より大幅に回復した。これは、中国、EU向けが2ケタ台と大幅に回復したこと、機械輸出の1/3を占める自動車が回復してきたこと、約20%の産業機械が好調なことなどが要因である。3月の為替レートは対ドルで82.3円、対ユーロで113.5円となり、営業日は前年と同じであることから、円建輸出額では5.1%の減少要因となる。このため、実質伸び率を2月の14.7%増と仮定すると、3月の機械輸出の伸び率は9.6%増と予想されたが、東日本大震災による製品・部品の供給難で3月の全商品輸出額は2.2%減となった。

1. 全商品貿易動向～輸出伸び9%台に回復、輸入伸び10%を維持～

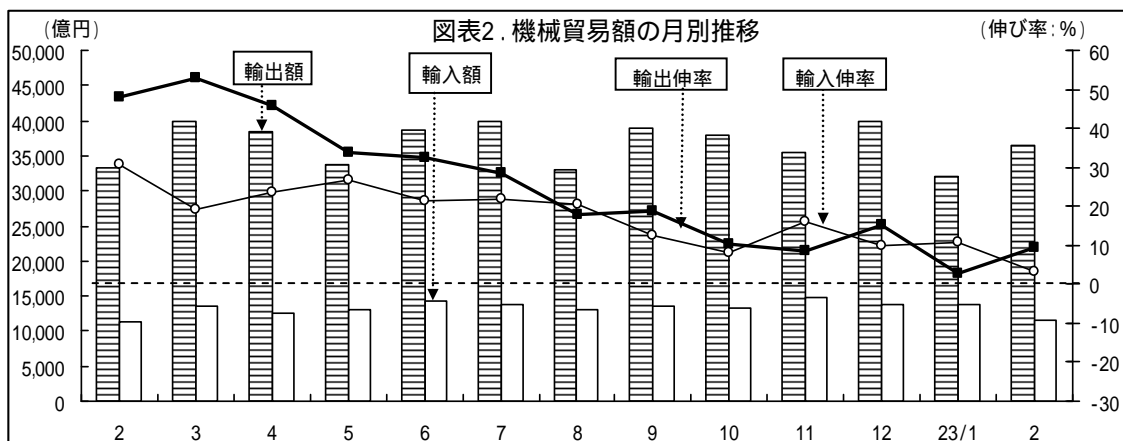
- 平成23年2月の全商品輸出額は5兆5,890億円、前年同月比(以下同じ)9.0%増と前月から大幅に回復した。(1月1.4%増)。商品別では、全輸出額の21%を占める一般機械(23.2%増)が2桁の高い伸びとなった他、13%の鉄鋼等素材製品(11.7%増)、11%の化学製品(10.4%増)等の増加が寄与した。
- 輸入額は4兆9,357億円、10.2%増と前月(12.5%)をやや下回った。これは、全輸入額の3%を占める輸送用機器(29.6%増)、鉄鉱石等原料品(27.9%増)、石油製品等鉱物性燃料(19.2%増)が高い伸びとなったが、12%の電気機器(2.1%増)、7%の一般機械(0.9%増)の伸び率が大幅に減少したためである。
- この結果、2月の貿易収支は、輸出が回復したものの、輸入の伸びがそれを上回ったことから、貿易黒字は0.6%の微増となった(6,533億円)。



2. 機械貿易動向

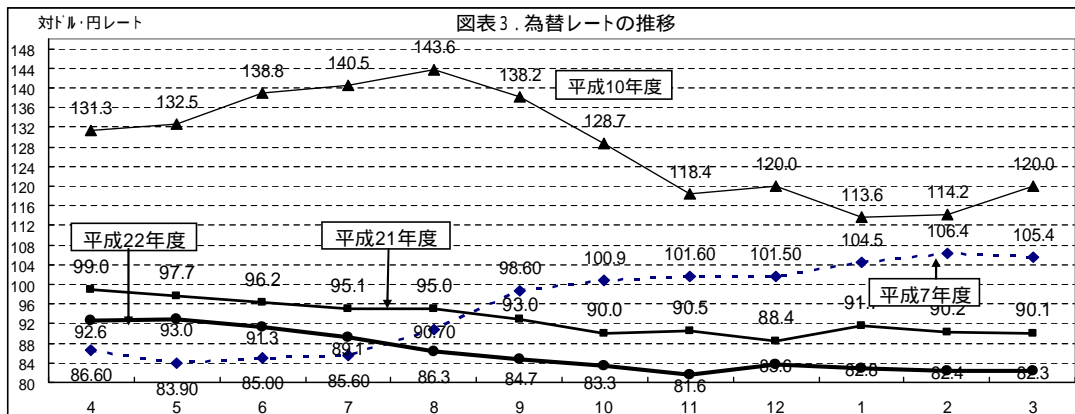
(1) 機械輸出入動向～機械輸出回復するも1ケタ台、輸入は年度最低の伸び～

- 全商品輸出額の65%を占める2月の機械輸出額は3兆6,482億円、9.3%増と前月(1月2.7%増)より回復したものの2ヶ月連続で1ケタ台の伸びとなった。この輸出額はリーマンショック以前の08年2月の輸出額と比較すると77%(1月73%)の水準である。一方、全商品輸入額の24%を占める機械輸入額は、1兆1,689億円、3.4%増と大幅に伸びが鈍化し(1月10.7%増)、22年度では最低の伸びとなった。輸入額はリーマンショック以前の79%と回復基調にあるが、前月(80%)より鈍化した。



(2) 為替動向・営業日～対ドル・ユーロ高で2月は5.4%、3月は5.1%の円建減少要因～

- ・2月は1ドル＝82.4円と前年比で8.6%の大幅な円高が続き、対ユーロ＝112.1円とやや円高が緩んだが11.1%の大幅な円高が続いている。この結果、営業日は前年と同じであるので、円建輸出額では5.4%の減少要因となった。このため、2月の機械輸出伸び率は9.3%増であったが、**実質伸び率は14.7%増**となり1月より上昇した(1月9.3%増)。
- ・3月は1ドル＝82.3円と前年比で8.7%の大幅な円高が続き、対ユーロ＝113.5円とやや円高が緩んだが7.6%の円高が続いている。この結果、営業日は前年と同じであるので、円建輸出額では5.1%の減少要因となる。
- ・4月は、対ドルが現状の83円とすれば10.4%の大幅な円高となり、対ユーロで現状の120円とすれば4%の円高が続き、あわせて円建輸出額の5.6%の減少要因となる。営業日は前年より1日少ないので、4.8%の減少要因となる。合わせて10.4%の大幅な減少要因となる。



(3) 地域別動向～中国、EU向け大幅回復、NIES/ASAN向け2ヶ月連続マイナス成長～

- ・2月の伸び率が回復した原因は、最も大きな伸びとなったのが機械輸出額の20%を占める中国向けで、機種では全体の22%を占める半導体製造装置等産業機械(78.2%増)、船舶(2.7倍)、工作機械(2.3倍)、陸用内燃機関(87%増)が好調で、**38%増**と前月から大幅増となった。次に伸びたのが13%を占めるEU向けで、業種では全体の18.3%を占める半導体製造装置等産業機械(12.4%増)や工作機械(約2.1倍)、建設機械(61.3%増)、陸用内燃機(42.5%増)が好調で、前月を約10%上回る**12.3%増**となった。次が20%を占める北米向けで、業種では全体の15%を占める半導体製造装置等産業機械(21.5%増)、建設機械(3.2倍)、工作機械(49.1%増)、陸用内燃機関(34.8%増)が好調で、**4.8%増**であった。20.4%のその他地域向けでは、ロシア・東欧(80.0%増)、インド(28.6%増)、アフリカ(14.7%増)向けが伸びたが、中南米、大洋州、中近東が前年比マイナスとなり、機種では、全体の半分を占める自動車(13.4%増)や建設機械(44.8%増)、産業機械(14.9%増)等が増加したものの、船舶(32.1%減)、民生用電気機械(7.5%減)がマイナスとなったため、**4.2%増**となった。
- 一方、26%と最大輸出地域のNIES/ASEAN向けは、輸出先では、シンガポール(18.9%減)、韓国(10.7%減)、フィリピン(10.1%減)向けが、業種では船舶(49.6%減)、産業機械(15.6%減)、民生用電子機械(7.9%減)が減少し、**0.8%減**と減少幅は縮まってきているものの2ヶ月連続のマイナス成長となった。

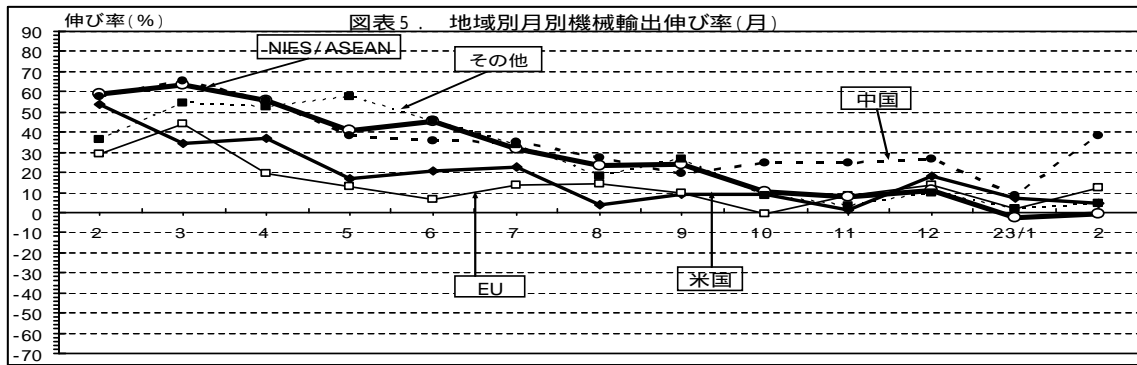
地域別に、リーマンショック以前の08年2月の輸出額と比較すると、中国向けが水準を超え、NIES/ASEAN向けが80%、その他地域向け、北米、EU、は未だ50～60%台の水準である。

図表4. 最近の地域別機械輸出動向

(単位: 億円)

	2010/12			2011/1			2011/2			対08年 2月比
	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	
全世界計	39,987	15.3	100	31,952	2.7	100	36,482	9.3	100	0.77
北米	8,247	17.9	20.6	6,384	7.0	20.0	7,347	4.8	20.1	0.67
EU	5,009	13.4	12.5	4,212	2.2	13.2	4,781	12.3	13.1	0.58
NIES/ASEAN	11,161	11.2	27.9	8,669	2.8	27.1	9,534	0.8	26.1	0.80
中国	8,110	26.2	20.3	5,713	8.6	17.9	7,380	38.0	20.2	1.29
その他	7,460	9.4	18.7	6,975	1.6	21.8	7,440	4.2	20.4	0.69

中国は、2ヶ月連続で前年比10%以上プラス。



図表6. NIES/ASEAN・その他地域向け機械輸出の推移(月別) (金額単位:億円)

国名	2010/11		2010/12		2011/1		2011/2	
	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率
韓国	1,737	2.1	1,957	7.4	1,618	7.3	1,705	10.7
台湾	1,846	10.7	2,032	10.2	1,631	2.9	1,813	1.1
香港	1,570	8.3	1,894	13.4	1,287	15.6	1,458	3.8
タイ	1,541	21.5	1,683	18.0	1,356	6.0	1,548	11.5
シンガポール	1,038	18.7	929	4.5	899	21.0	823	18.9
インドネシア	677	31.1	864	33.0	538	0.1	683	1.1
マレーシア	744	6.1	953	27.0	670	7.5	783	11.3
フィリピン	493	10.2	495	8.8	441	1.3	420	10.1
ハトナム	245	8.1	316	0.9	202	18.7	260	5.7
その他地域								
中南米	2,157	8.6	2,550	9.3	2,514	7.2	2,051	22.5
中近東	1,265	19.7	1,585	5.9	1,100	14.8	1,461	0.9
大洋州	1,018	0.4	965	7.2	1,086	3.6	1,143	1.9
ロシア東欧等	950	56.3	1,020	52.3	1,089	69.9	1,358	80.0
アフリカ	696	18.0	686	11.8	767	0.9	797	14.7
インド	422	33.5	476	16.1	298	18.2	436	28.6

は、2ヶ月連続で前年同月比プラス(10%以上)

(4) 業種別動向 ~ 19業種中 10業種が2桁の伸び、自動車、産業機械が全体を牽引 ~

・業種別では、全 19 業種中 13 業種が前年比プラス、うち 10%以上の伸びとなったのは 10 業種で、前月より 3 業種増加した。一方、マイナスは 6 業種で前月より 3 業種減少した。

全体の 33%を占める自動車は 9%増と前月から大きく回復し、機械輸出の回復に貢献した。高い伸びとなったのが、18%を占める産業機械(18.6%増)や工作機械(90.9%増)、繊維機械(63.5%増)、建設機械(52.2%増)、陸用内燃機械(51.1%増)などであった。

一方、船舶(26.5%減)、電子計算機(19.4%減、8ヶ月連続減)、農業機械(9.1%減)、電子デバイス(5.6%減)(いずれも2ヶ月連続減)、通信機械(4.0%減、12ヶ月連続減)が大幅なマイナスとなった。

・業種別に 08年2月の輸出額と比較すると、リーマンショック以前の水準を超えたのは医療機械、ベアリング、陸用内燃機械の3業種で、光学機械、工作機械が90%台であるが、自動車、農業機械、民生用電子機械、電子計算機等は未だ40~70%台である。

図表7 上位19業種の輸出額の動き (単位:億円、%)

機種名	2010/12			2011/1			2011/2			対08/2比		
	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額		伸び率	シェア
自動車	13,005	13.9	32.5	自動車	9,828	0.9	30.8	自動車	12,145	9.0	33.3	0.71
産業機械	7,478	27.5	18.7	産業機械	5,709	21.5	17.9	産業機械	6,683	18.6	18.3	0.89
電子デバイス	3,353	0.0	8.4	電子デバイス	2,761	12.9	8.6	電子デバイス	2,891	5.6	7.9	0.77
民生用電子機械	1,868	2.8	4.7	船舶	2,693	2.7	8.4	船舶	1,561	26.5	4.3	0.87
軽電気機械	2,176	13.1	5.4	軽電気機械	1,653	5.2	5.2	軽電気機械	1,929	4.4	5.3	0.79
船舶	1,576	10.1	3.9	民生用電子機械	1,446	12.9	4.5	民生用電子機械	1,640	0.5	4.5	0.57
重電気機械	1,945	8.8	4.9	重電気機械	1,445	0.4	4.5	重電気機械	1,781	16.1	4.9	0.88
光学機械	1,315	13.2	3.3	軽機械	1,056	6.5	3.3	軽機械	1,276	19.7	3.5	0.74
軽機械	1,384	15.4	3.5	光学機械	1,049	3.7	3.3	光学機械	1,133	13.4	3.1	0.95
建設機械	1,243	55.9	3.1	建設機械	923	57.7	2.9	建設機械	1,256	52.2	3.4	0.85
電子計算機	543	18.5	1.4	工作機械	503	63.0	1.6	工作機械	764	90.9	2.1	0.91
通信機械	584	3.9	1.5	通信機械	461	10.6	1.4	通信機械	469	4.0	1.3	0.54
工作機械	787	109.1	2.0	電子計算機	409	24.1	1.3	電子計算機	424	19.4	1.2	0.40
ベアリング	408	33.2	1.0	ベアリング	329	19.8	1.0	ベアリング	384	24.2	1.1	1.08
陸用内燃機関	431	52.6	1.1	陸用内燃機関	328	38.0	1.0	陸用内燃機関	431	51.1	1.2	1.01
医療機械	373	1.5	0.9	医療機械	262	10.3	0.8	医療機械	307	0.8	0.8	1.16
繊維機械	223	58.6	0.6	繊維機械	146	13.1	0.5	繊維機械	237	63.5	0.6	0.78
農業機械	171	3.1	0.4	農業機械	143	3.6	0.4	農業機械	153	9.1	0.4	0.61
産業車両	140	44.0	0.4	産業車両	102	32.0	0.3	産業車両	127	33.0	0.3	0.55
19業種合計	39,003		97.5	19業種合計	31,246		97.8	19業種合計	35,591		97.6	0.76

は2ヶ月以上連続で10%以上増加。・民生用電子機械: デジカメ、TV、部品。電子計算機: パソコン、HDD、プリンター等部品。軽電気機械: 白物家電、電子計測器。軽機械: 分析器。光学機械: 光学材料、カメラ。

- (5) 機種別動向～工作機械、繊維機械、建設機械は好調、携帯電話、船舶、電算機はマイナス～
 ・伸び率上位機種は、中国、北米、EU等全地域向け**工作機械(90.9%増)**、中国、ASEAN、その他地域等向け**繊維機械(63.5%増)**、中国、その他、北米向け等**運搬機械(56.8%増)**、中国、その他、北米向け等**建設機械(52.2%増)**、北米、EU、中国向け等**産業用ロボット(51.4%増)**、中国、北米、EU向け等**陸用内燃機関(51.1%増)**、中国、北米、EU等**半導体製造装置(35.5%増)**、その他、ASEAN、北米向け等**産業車両(33.0%増)**、中国、EU、北米向け等**ベアリング(24.2%増)**、中国、EU、北米向け等**分析・試験・検査機(21.5%増)**などである。
 一方、最も落込み幅が大きいのが、携帯電話(51.6%減)、船舶(26.5%減)、エアコン(25.0%減)、発電機(24.3%減)、電子計算機(19.4%減)であった。

図表8. 伸び率上位機種(月50億円以上、前年比伸び率、10機種以内) (単位:億円)

2010/12			2011/1			2011/2		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
工作機械	787	109.1	半導体等製造装置	1,590	115.0	工作機械	764	90.9
産業用ロボット	96	74.3	工作機械	503	63.0	繊維機械	237	63.5
半導体等製造装置	1,751	66.6	建設機械	923	57.7	運搬機械	242	56.8
繊維機械	223	58.6	産業用ロボット	75	51.1	建設機械	1,256	52.2
建設機械	1,243	55.9	陸用内燃機関	328	38.0	産業用ロボット	98	51.4
電子応用装置	65	55.7	運搬機械	191	32.3	陸用内燃機関	431	51.1
陸用内燃機関	431	52.6	産業車両	102	32.0	半導体等製造装置	1,561	35.5
産業車両	140	44.0	発電機	90	20.9	産業車両	127	33.0
ベアリング	408	33.2	ベアリング	329	19.8	ベアリング	384	24.2
電気・電子計測器	423	32.1	電気・電子計測器	315	16.7	分析・試験・検査機	707	21.5
機種合計	5,567	13.9%	機種合計	4,446	13.9%	機種合計	5,807	15.9%

は、2ヶ月連続で上位機種・機種合計の%は輸出額に占める割合

図表9. マイナス伸び率上位機種(月3億円以上、10%減以上、10機種以内) (単位:億円)

2010/12			2011/1			2011/2		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
録画・再生機器	16	36.4	録画・再生機器	14	29.1	携帯電話	3	51.6
電子計算機	543	18.5	電子計算機	409	24.1	船舶	1,561	26.5
			民生電子部品	716	13.7	エアコン	8	25.0
			電子デバイス	2,761	12.9	発電機	95	24.3
			医療機械	262	10.3	電子計算機	424	19.4
機種合計	559	1.4%	機種合計	4,162	13.0%	機種合計	2,091	5.7%

は、2ヶ月連続でマイナス上位10位内 *機種合計の%は機械輸出額に対する割合

(6) 機械輸入動向～電子計算機、電子デバイスがマイナス～

・2月の機械輸入額は3.4%増と前月より伸び率は大幅に鈍化した。その要因は、二大輸入機種の電子計算機(6.4%減)、電子デバイス(3.5%減)がマイナスとなった他、民生用電子部品(25.6%減)も前月よりマイナス幅を拡大させたこと等による。

なお、輸入額が輸出額を上回っている機種は、電子計算機、携帯電話、TV、医療機器、録画・再生機器、エアコン、白物家電、ラジオ、時計となっている。

・地域別機械輸入額は、中国(1.4%増)、ASEAN(3.9%増)、北米(4.6%減)、EU(16.3%増)、韓国・台湾(0.9%増)の順となっており、EUからの伸び率の増加が目立っている。

図表10. 機械輸入額上位12機種 (単位:億円、%)

2010/12				2011/1				2011/2			
機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア
電子計算機	1,712	7.9	12.5	電子計算機	1,794	6.7	13.0	電子計算機	1,455	6.4	12.4
電子デバイス	1,553	6.6	11.4	電子デバイス	1,685	1.5	12.2	電子デバイス	1,375	3.5	11.8
TV	709	74.7	5.2	TV	596	61.8	4.3	自動車部品	528	0.2	4.5
重電気機械	609	9.8	4.5	重電気機械	664	13.9	4.8	重電気機械	525	3.6	4.5
自動車部品	603	13.7	4.4	自動車部品	638	6.3	4.6	TV	487	38.2	4.2
乗用車	583	14.9	4.3	乗用車	466	32.7	3.4	医療機器	454	0.4	3.9
白物家電	500	17.0	3.7	白物家電	478	23.2	3.5	乗用車	444	86.9	3.8
携帯電話	435	51.0	3.2	携帯電話	438	59.5	3.2	携帯電話	407	58.8	3.5
医療機器	431	12.2	3.2	医療機器	450	8.2	3.3	白物家電	374	2.3	3.2
光学機械	333	2.5	2.4	民生用電子部品	336	3.2	2.4	光学機械	328	7.2	2.8
民生用電子部品	330	6.8	2.4	光学機械	333	14.7	2.4	航空機	317	12.0	2.7
航空機	286	46.2	2.1	航空機	224	34.7	1.6	民生用電子部品	243	25.6	2.1
12機種合計	8,084		59.1	12機種合計	8,102		58.8	12機種合計	6,694		57.3

は対前年比が2ヶ月連続で10%以上増加。白物家電・民生用電気機械